

News Release

News Release

平成 21 年 1 月 16 日

日本 C C S 調査株式会社

「平成 20 年度二酸化炭素削減技術実証試験」 に係る委託事業について

当社は、このたび経済産業省産業技術環境局地球環境技術室から昨年 11 月に公募された「平成 20 年度二酸化炭素削減技術実証試験」に係る委託事業の受託先として採択されました。

これは、経済産業省が行なわれる地球温暖化問題への更なる取組に寄与する技術である二酸化炭素の地中貯留の実適用を本格化するため、次期実証試験（年 10 万トンCO₂規模）の実施に適する地下帯水層等に係る分析・評価手法の構築を行なうとともに、実証に必要な要素を整理し、実用化に必要な実証試験の候補地を選定するための委託事業であります。

当社は、現在までに経済産業省から「二酸化炭素地中貯留技術研究開発」（実証試験に適する地下帯水層等にかかる評価技術開発）」と独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「石炭ガス化発電からCO₂貯留に至るトータルシステムのフィジビリティ・スタディ」を受託し、C C S 実証試験に向けた調査事業を実施しております。

特に当社は、これらの諸事業の実施により、日本におけるC C Sの大規模実証試験の早期実現に寄与し、地球温暖化対策が大きく前進するものと確信しております。

今後も当社は、日本における地球環境問題解決に精力的に取り組んでいられる株主の協力の下、CO₂の分離・回収から輸送、地中貯留までを専門に調査する会社として、日本政府と協力しながら、また海外のC C S関係先と連携して、C C Sによる地球温暖化防止に全力を尽くして参りたいと考えております。

* C C S : Carbon dioxide Capture and Storage（二酸化炭素回収・貯留）

以 上